



いずみさき

平成24年  
8月1日  
発行

No.13

# 議会だより

泉崎村児童館  
七夕まつり



## 輝く未来を子ども達へ



目次	2ページ …… 議会報告	9ページ … 議会インフォメーション
	3～8ページ … 一般質問	10ページ … 活動報告・編集後記

泉崎村保育所  
七夕まつり





## 24年 第2回 6月定例会報告

会 期：平成24年6月7日(木)  
 ～6月14日(木)  
 議 案 等：報告1件、議案9件  
 一 般 質 問：6月12日(火) 6名  
 請 願・陳 情：なし

議案番号	件 名	可・否
報告第 4号	平成23年度泉崎村繰越明許費繰越計算書	報告
議案第31号	福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決
議案第32号	泉崎村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第33号	泉崎村税条例の一部を改正する条例	可決
議案第34号	泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
議案第35号	平成24年度泉崎村一般会計補正予算(第2号)	可決
議案第36号	平成24年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第37号	平成24年度泉崎村国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第38号	平成24年度泉崎村介護老人保健施設特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第39号	泉崎村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 住所： 泉崎村字高屋25-2 氏名： 中畑 満	同意

### 平成24年第2回泉崎村議会臨時会報告

平成24年4月13日(金) 報告2件  
議案1件

- ◎報告第 2号 専決処分の承認を求めることについて  
(平成23年度泉崎村一般会計補正予算(第8号))
- ◎報告第 3号 専決処分の承認を求めることについて  
(平成23年度泉崎村農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第5号))
- ◎議案第30号 平成24年度泉崎村一般会計補正予算(第1号)

※全て原案のとおり可決されました

### 「議会中継(録画)及び会議録検索システムが利用できます。」

\* 会議の様子や会議の内容が記録されております。泉崎村のホームページからご覧ください。

泉崎村ホームページアドレス：<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

◎映像閲覧延べ件数：映像 1,707件(月/68.2件) ◎会議録 1,549件(月/61.9件)

## 一般質問

鈴木盛利  
議員

- 一、防災無線(戸別受信機)について
- 二、職員の教育について
- 三、職員の退職人員増加について

### 一、防災無線(戸別受信機)について

鈴木 この事について、以前二回ほど、一回目は平成22年3月定例会、二回目は平成23年6月定例会で質問しております。

その後の、地域懇談会等でこの事についての質問も数回ありましたので、広報、回覧板等で周知するのとか、注視しておりましたが、いまだ周知文は見つかりません、この事について伺いたい。

住民生活課長 この事に関しては昨年の六月から村のホームページに掲載しており、受信機希望者への助成制度であります、個人負担一万八千円で購入できることを周知しております。

消防防災通信基盤整備事業の無線設備規制の改正によりまして、アナログ方式からデジタル方式への移行が平成30年11月までに、切り替えると言う事で、積極的に広報しております。しかしながら、今後、広報等で周知致します。

村長 防災周知の重要度は、昨年の震災を体験して、本当に大事な事と思っております。

以前、全戸に設置したときは、全て補助金で設置した経緯がありましたので、震災後になんとかならないかと、国・県に再三申しあげておりますが、答えが返ってきませんが、諦めずに今後共粘り強く交渉してまいります。

### 二、職員の教育について

鈴木 表題が大々的な表現になっておりますが、窓口に来た村民、電話での問い合わせの方々に對しての、職員の対応が一方的な説明で、逆に不安を持った方が居られたような事を聞いております。

震災以来、村民の方々は、心の休まる事が無く、少しの事でも不安な気持ちで過していると思えます。私達、議員もそうですが、職員も住民の方々の身になって話しをよく聞き、よく説

明、対応して貰いたいと思えます。

村長 職員の接遇関係、対応については、毎週朝礼の時に、非常に厳しく注意をして、村民の立場で対応してくれと常に言っております。

また講師を招いて、今まで二回ほど研修等を行っております。今後、見聞きした事で、気になった事があったときはぜひ来庁して話を聞かせてください。

住民生活課長 窓口対応と言う事ですが、そういった事があつたかと思えますが、今後はその様な事が無いようにしていきたいと思えます。

### 三、職員の退職人員増加について

鈴木 職員削減傾向に対し異論はないが、以前、退職金基金の積立をストップしていた時期があつたと、記憶しておりますが、その期間と金額、退職者への対応

についてお伺いします。  
 総務課長 自主的財政再建の取り組み時の平成13年度から平成18年度の6年間、延納処置を講じました。延納金額は6億3千8百37万8千8百35円で、総合事務組合との協議で平成20年から平成29年の10年間で分納する事としております。ちなみに平成23年度は通常分で7千6百1万7千円と分納分の3千9百90万円合せて1億2千5百91万7千円となります。基金残額は2千2百35万3千円あります。





一般質問

鈴木清美  
議員

一、福祉について

一、高齢者生きがい活動支援事業について  
村の職員の中にも事業をよくわからない職員もいるようなので内容を具体的に説明して下さい。

保健福祉課長 この高齢者生きがい事業、通称デイサービスといいますが、介護認定者についてはデイサービスを受けることが出来ますが、介護の認定されない方について、村のこの生きがい通所事業によって利用が可能となります。活動を利用したい時は申請を村に致します。村で内容を審査して、生きがい通所で、この事業を利用すれば日常生活に生きがい、楽しみを持って利用できるのではないかと思います。

鈴木 福祉課長の言ったとおり、介護認定が受けられない人でも、病院の診断書の審査で、自分で生活ができるようにしてあげるのが高齢者生活活動支援事業ですね。この事業の中で、今回一つの事で具体的に皆さんに説明したいと思えます。1月25日、10時40分に施設の方から移動時に車椅子で転び大腿部が痛いと言え、

施設の看護師の判断では骨折していると思われるから保険証がないですかと電話がありました。保険証がないと病院に連れて行くことができませんと話したので、病院に着いた後に届けますので病院に連れて行って下さいとのやりとりで2時間以上経過しました。

人の命よりも保険証を優先するの。村での生きがい事業は一体何だろう。もし自分の家族、子供が保険証が無いことで2時間以上も病院へ連れて行くことをしないのかと思います。2時間もの間、受診しなかったのかこんなふう書いてあるのです。家族に対して保険証の確認を優先したために発生から病院の受診が2時間もの時間が経過しました。つまり、人の命よりも保険証のほうが大事なのか。骨折して痛がって、その後一言も言葉が出ない人を、ショックを受けている人間を2時間以上もそのままにしておいて、何もしないのか。村ではこのような事業を本当に優先してこれからも続けていくのか。でも、この事業は無くてもならない事業ですから後でもう一度話します。最初の病院か

せ下さい。学校教育課長 現在の放射能は、教室内0.05、校庭は地表1cm 0.07、0.21マイクロシーベルト。さらに校舎施設による除染を行うので、窓も開放して授業も可能となる。

一般質問  
飛知和良子  
議員

一、冷房設置について

二、地域懇談会について

一、学校の冷房設置について

昨年は、放射能の心配で、夏場の暑さ対策には教育現場で大変苦労致しました。窓は開けられず校庭では思うように活動出来なかったというのが現状でありました。昨年は暑さ対策として、よしずを取りついたり、緑のカートン・扇風機を設置など致し、暑さをのりきりました。今年は、校庭の表土をはぎ除染し、さらに今回は校舎の除染をやるということ、今年は窓を開けられるし心配いらぬという現場の声でありました。私は、子育ては心身に強く育てなければならぬと平日頃考えております。子どもの成長期にはエアコンは決して体に良いものではありません。又、今回の地震で原発をなくそうと言っているのです。この夏は、電力不足から節電を考えて行かなければなりません。田舎の自然体の中で子どもを育てて行く指導も必要かと考えますが当局の考えをお聞か

学校教育課長 現在の放射能は、教室内0.05、校庭は地表1cm 0.07、0.21マイクロシーベルト。さらに校舎施設による除染を行うので、窓も開放して授業も可能となる。村長 今年度はさらに校舎を徹底的に除染するので、窓を開けられる状況になり、心配いらぬ。エアコンを設置する考えはありません。去年は学校側で緑のカートン、よしずをやったり、扇風機で対処しましたが今年度は、窓側に特殊なシートをはるとか少しでも涼しくなる方法をとりいれて行きたい。やはりエアコンに頼るのはどうかと。自然に近い方法を追求してみたいと思っております。

飛知和 村長の話しどおり、泉崎村のこの自然の中でエアコンに頼らず、節電対策、エネルギー・電力不足の問題など教育現場でとりあげて頂きたい。教育長この点は如何でしょうか。教育長 水分補給を家庭か

ら違う病院に移るために診断書が届きました。施設側の説明ではソファから転倒して事故が起きたと書いてあります。病院の診断書には車椅子での転倒と書いてあり、3月31日に書き直された。女性が一番最初に施設の転倒が本当か今でもよくわかりません。村民の方から母親もデイサービスに行っているから、私も大変に心配しているから説明が出来るように聞いて下さいと話の方もいます。施設の理事長が私の所にあいさつに来たときに高齢者がいるから施設がある。高齢者がいるからあなたの方職員も自分の家族や子供を養うことができるのでしょ。人生の最期、あなたの施設があるんでしょ。最期、見てあげるのがあなたの方の仕事でしょと話しました。今後の対応、事業をどのような形で安心して事業を続けていくのかお聞かせ下さい。

村長 職員の方から連絡があり病院にお見舞い行きました。事故がきっかけだったと、私も認識しております。申し訳なかったと思っております。この事業平成13年

度から実施しています。現在3人利用されています。介護認定を受けていない方々に仲間刺激を受ける活動をするのでいい方向にも精神的にもプラスになると私も思っています。村では施設に業務委託を基本的な協定を結んでおります。これからは連絡を密にし信頼関係を得ながら進めて参りたい。今の段階ではその辺りを改善して非常にいい制度かなと責任を感じながら続けたと思っています。

鈴木 施設の規則では救急車とか病院に何を判断して救急車を依頼はするか、意識のない場合は救急車、意識のある場合には自分達の車で運ぶという規則なんです。委託事業ですから施設との話し合いができると思えますので、保険証がない事や意識のあるかないかで病院に連れていくかではなく事故時にはスムーズに対応して行く事を施設とよく話し合ってください。今回の事故を教訓に利用者の心配ない体制でこの事業がそのまま継続していくように、どうか今後も安心できるように事業にしていきましょう。

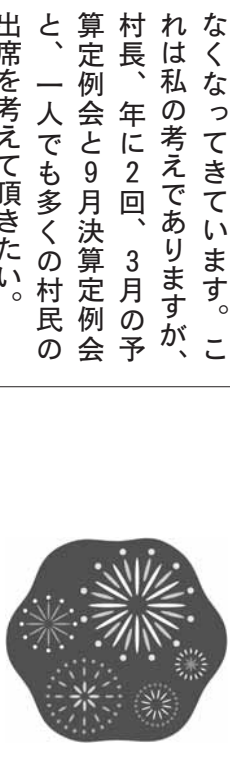
二、地域懇談会について

地域懇談会の見直しについてありますが現在の所10ヶ所から、震災後5ヶ所まで減っております。各地方部の村民の方々と直接お会いし話しを聞いたりして村内の様子も理解できるし、良い機会であります。しかし残念ながら村民の方々が少なくなっています。これは私の考えであります。村長、年に2回、3月の予算定例会と9月決算定例会と、一人でも多くの村民の出席を考えて頂きたい。

総務課長 平成22年4月から始まり、出席人数が減少してきている状況である。今後、検討して行きたい。

村長 私も議員時代、財政問題が吹き出て、違法性のある借り入れが45億円もありました。この点から、住民にも中身を包み隠さず知らせる必要があるかと考え行なってきた。年に2回、重要な時期、予算が決定する、あるいは決算、この辺りをベースにしても、その一つの方法を考えたい。

飛知和 村長の思いは理解できますが村民に村長の思いが伝わってないのではないのか。若い人達が少ないので、若い世代、子育ての世代の方に魅力あるものを提案したり、地域懇談会に一人でも多くの村民の方々が出席下さるような懇談会に育てて行きたいと願っております。





### 一般質問

#### 岡部英夫 議員

一、畜産業者に出している生菌補助事業の効果、効能について



岡部 畜産業者に出している生菌補助事業についてとして質問を出しておきました。1番目に、泉崎村には、酪農業者、畜産業者はそれぞれ何件あるのか、また2番目としてこの事業を利用している業者は何件あるのか23年度、24年度に分けて差し支えなければ業者名もお聞かせ願います。

産業振興課長 乳用牛4事業者、肥育牛4事業者、養豚業4事業者です。養豚農家生菌剤添加事業により、養豚農家が対象で、中野目畜産、木野内ファーム、大木畜産、小松畜産、の4業者が利用して、その他に、この事業を利用せず自費購入で白河ファームが生菌剤を使用しています。効果、効能については、臭気モニターの方々から効果、効能は歴然としており、大きな改善が見られたとの意見があります。

岡部 実際この効果を出すのには1軒の業者に対してどのくらいの費用が必要なのか、昨年は97万3千円、

今年2百43万3千円とっておりませんが、効果については、大きな改善が見られたといいますが、周りの人の話ではよくなったという話では聞けないのですがお聞かせ願います。

産業振興課長 平成22年8月から10月に、9名の方をモニターとして調査をしました結果で、臭い等についても雲泥の差があるほど改善されており、ハエ等も以前より少なくなったと言います。結果、効果は認められました。去年は災害の関係で若干、時期も遅れましたが今年には力を入れて進めてまいります。

岡部 おととのモニター結果、22年度は試験か何かで、23年度の97万3千円それをどのように使ったか、23年度の実績、効果を一番知りたいわけです。

産業振興課長 23年度の実績は、夏場のちょうど臭いの時期に震災、行事とか重なり4業者、大木畜産、小松畜産、木野内ファーム、中野目畜産、の4業者で利用いただきモニターで30万

円の利用が実績です。

岡部 今言ったような夏場の臭いの多いときだけ使うのか、それとも年間を通して使うのか、事業規模の大きさに違いがあると思うが、1事業者に対しどの位掛かるのか知りたいのです。やみくもに予算をとっているわけではないでしょうか。

産業振興課長 お答えいたします。中野目畜産23年11月から5か月間で70万4千5百50円、小松畜産23年8月から8か月間で13万8千6百円、木野内ファーム23年11月から5か月間で14万4千3百75円、大木畜産27万7千2百円これらの総事業費に20パーセント出して村の助成金が25万2千9百25円で先ほどの30万円は違いました。

岡部 村長に伺います。この事業を一年間通して生菌剤をやる考えはないのかやるとすればすでに始まっているのか伺います。

村長 22年度の試験の結果効果があるということなので、続けてやります。中野目畜産の近辺の臭いも正直

聞いております。今年度は助成金を50パーセントにしてみんなに使い切ってほしい。

産業振興課長 モニターの試験、生菌剤事業も一年間を通してやります。

岡部 数年前にこれと同じ計画で群馬県まで研修したことがある業者は、効果は得られないと言った覚えがありますが、今回のメーカーはそれとは違うメーカーなのでしょうか、それとこの生菌剤を一括して安く仕入れ、現物支給するわけにはいかないのか伺いまして終わります。

村長 飼料の配合段階で、その他の飼料と一緒に混ぜる方法をとっています。メーカーの証明もあり、これが良い方法かと思えます。



### 一般質問

#### 白石正雄 議員

- 一、放射能除染事業の経済効果政策について
- 二、放射能ホットスポットの除染と線量マップの作成について
- 三、仮置場作成の経過と現状、今後の対策について
- 四、山林・農地汚染の実態と放射能低減にむけた対策の研究について
- 五、子供の内部被曝防止対策について
- 六、予想される村民の健康被害に備える医療の整備、検診対策について
- 七、放射能被害賠償請求について



白石 5月15日に琉球大学名誉教授矢ヶ崎克馬氏を招いて行った、一時間半の村内精密測定の結果、太田川地区では、白河市小田川地区との境、県道山際で0.4マイクロシーベルト、側溝で0.6。太田川公民館の西南の角にモニターングポストが設置されており、この時の空間線量は0.33。ところが東南の角にある雨どいの吐出口近くでは11マイクロシーベルトあった。ラフォーレゴルフ場入口道路上が0.6、側溝が1.6。

昨年8月の測定で9.8マイクロシーベルトと村内高い線量を示した高屋地区の県道沿いは1.21、1.07、低いところ0.6。「こころや」入口側の県道沿いは5.5の数値を示した。昨年、表土を剥いで除染を徹底した、第一小学校の校庭や近くの通学路は、0.16から0.2。

後日、行なった太田川地区の家庭の調査では、側溝で0.6、雨どいの吐出口では1マイクロシーベルトを越すところが見つかっており、国が規制する一時間当り0.23

マイクロシーベルトを大幅に上回るホットスポットができています。

村内には非常に放射線量の高い場所、いわゆるホットスポットが無数に存在していることが明らかとなっている。特に、久保木村長の居住する太田川地区は高く、早急に各家庭にその危険を知らせ、住民参加で除染を実施する必要があるのではないかと。

除染対策室主幹 昨年、国の線量低減化事業を村民協力の元で実施した。その際509箇所の線量測定を行ないマップを作成全戸配布した。しかし、マップに表示されないホットスポットがあるものと思われ、下げるため面的な除染を行なっていきます。

除染事業の中で、ホットスポットの探索、除染、除染後の線量測定を行なっていけると考えており、事業終了後、効果を広報で周知させていきたい。

白石 放射性物質が口や鼻から人間の体内に入って被爆する危険性は、実効線量で比較すると外部被曝の600

倍と言われている。

本年、1月25日に福島県が公表した東電福島発電所の周辺4市町村(南相馬市、浪江町、飯館村、川俣町)の県立医大による子供の甲状腺検査結果では、3765人検査し、1143人(30.4%)から「しこり」や「嚢胞」が見つかった。

また、石川郡平田村にある平田中央病院が、昨年10月17日から今年1月31日までのホールボディカウンターの検査の結果、8060名検査し検出限界(300ベクレル)以下は6890名で、1170名(14.5%)から放射能が検出されている。

これらの検査で確認された「しこり」や「嚢胞」、あるいは放射線が全部直接ガンに結びつくわけではないが、少なからず健康被害に影響していくことは明らか。

ロシアベラルーシの病理学者バンダジェフスキー氏は、チェルノブイリ原発事故の11年後1997年に死亡したベラルーシ市民の病理解剖の結果、セシウム137

べんなく蓄積されていて、特に甲状腺に多く、子どもの甲状腺には際立って蓄積量が多いと報告している。

しかも、放射性物質が口や鼻から体内に取り込まれる際には、微粒子として取り込まれるので、セシウムやヨウ素以外の放射性物質も、一緒に取り込まれていることは必然だと研究者は主張している。

泉崎村は、子どもを優先して、全村民を対象に無料の検診制度や無料の医療制度を早急に整えていく必要がある、内部被曝を防護するためあらゆる措置を講じることが必要。特に甲状腺の精密検査は、料金自己負担無料にして、すぐ取り組む必要があるのではないかと。

保健福祉課長 平成25年度までに県民の健康管理として、18歳未満を対象に無料で甲状腺検査が行なわれることになっている。各種検診の自己負担無料については、放射能の影響、近隣市町村の状況を考慮して村長と協議していきたい。



# 一般質問

## 浅野一成 議員

- 一、除染についての経過及び仮置場の進捗状況について
- 二、中学校の部活動について



一、除染についての経過及び仮置場の進捗状況について

浅野 除染計画が国の認定を得られたことによる内容について伺いたい。

除染対策室主幹 特別措置法が一月から施行されたことに伴い、泉崎村除染計画について、三月より事前協議をし5月21日付で異存がない旨回答があり、内容は泉崎村除染計画から実施計画に変更、放射線量という言葉空間線量率に改め、字句の訂正等が主なものです。

浅野 認定を得られたことによつて、個人除染についても助成が得られるようにすべきと思うが伺いたい。

除染対策室主幹 県内の自治体で早い段階から住民による除染が始まっていたので、申請件数が膨大になり、どこまで国が負担するかはまだ決まっていない。環境省からはニュース報道が先行しすぎ、助成する制度はまだできあがっていないとの回答を得ています。個人、企業の除染に関する費用に

つきまして、機会のあるごとに国、県に対して助成制度の創出に向けて要望を続けていく考えです。

浅野 除染を誰がいつ頃から開始されるのか伺いたい。

除染対策室主幹 仮置きはさつき球場裏に、面積が不足するため、陸上競技場も考えております。発注者は村で、除染開始時期は公共施設については夏休み前に発注したいと考えています。

浅野 村民が除染作業に限り収入を得られるようにすべきと思うが伺いたい。

除染対策室主幹 除染作業自体も被爆の危険性があり、線量を記録することとされ

ており、住民の安全管理を図りながら、経済効果があればよいと考えております。

村長 希望者みんなどで、ふるさとの環境づくりですから、関わっていただきたい。資材の調達から含めて、経済効果とも考えて、どの業者にどのような委託するかはこれからの問題で、すべて地元調達を考えております。

等の除染によつて、線量は下がりました。しかし、3月に質問した、まはぎが丘、芝生のあるところ、校舎窓際の花壇の所は線量が高い。それと正門から昇降口間の道路がでこぼこで、その穴には土のうを埋めてある。私はこれを見て悲しくなりました。子ども達が毎日通りその上を歩く、放射能がたまっているはずで、応急処置して、将来は舗装改修をお願いしたいと思えます。

二、中学校の部活動の指導体制について伺いたい

教育長 部活は野球48名、バスケット18名、サッカー34名、卓球28名、自転車4名、テニス25名、バレーボール6名、パソコン14名、美術9名、器楽10名の入部状況です。各運動部には教師1名ずつ配属されているものの、保護者の支援や協力が必要な支援となつています。顧問の教師1名では安全面からすると必ずしも安全とは言えませんが練習の工夫をして、目標到達を目

指しています。

浅野 例えば野球部員48名を教師一人で大変であり、一番怖いのは事故が起こらないことを願うからです。いい成績を上げる。皆頑張る、特に新入部員は希望を持って入部する、入部した生徒が辞めることのないような指導した目配りを願いたい。報道では本年は教育改革があり、スポーツ、芸術のすぐれた生徒は二年間で終了できる(高校)。県外の自治体ではスポーツ、芸術にすぐれた教員採用をしているとの報道があり、政府白書によると自殺者が3万を超え、学生、生徒が千数百名とあり、スポーツ、芸術、部活で強い精神と体を鍛えてほしいと願うものです。

村長 どういう問題があるか行政としても確認したい。保護者の皆さんの協力をお願いし、要請があればコーチとして心ある方があれば、我々もそっちに向向いてほしいなと思つています。

# ～放射能対策特別委員会～

4月13日、第4回放射能対策特別委員会において、今後の放射能対策特別委員会の今後の活動について話し合いました。

また、4月27日中央公民館で開催された福島大学副学長清水修二教授の講演会を議員も調査研究の一環として聴講しました。



## 中間報告

6月議会定例会において、放射能対策特別委員会の中間報告を行いました。



## 継続審査申出書提出

併せて、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染対策並びに損害賠償に関する事項を閉会中も引き続き調査、研究をしていく必要があるため、継続申請書を提出いたしました。



## ◎第16回議長杯グランド・ゴルフ大会



平成24年5月17日(木) ハ雲グラウンド

## ◎第30回議長杯ゲートボール大会



平成24年6月9日(土) 屋内ゲートボール場

### ・議長杯グランドゴルフ大会

- ◇個人の部 優勝：飯田磁男さん 準優勝：小林規浩さん 3位：黒沢汎視さん
- ◇団体の部 優勝：八雲チーム 準優勝：天王台チーム 3位：宿館チーム

### ・議長杯ゲートボール大会

- 優勝：泉崎A(宿館)チーム 準優勝：泉崎B(北平山)チーム



# 次期定例会のお知らせ！

## 9月6日(木)からの予定です。

一般質問は9月11日(火) (予定)

—— 傍聴にお越し下さい。 ——

### 議 会 活 動 報 告

### 編 集 後 記

【3月】

11日 平成23年度泉崎村国際交流総会  
 13日 第51回泉崎中学校卒業証書授与式  
 16日 泉崎幼稚園終了証書授与式  
 17日 泉崎村保育所満了式  
 22日 泉崎村社会福祉協議会理事会  
 " 第2回東京電力(株)交渉活動  
 " 泉崎村農業委員会定例会  
 23日 例月出納検査  
 " 泉崎第一、第二小学校卒業証書授与式  
 24日 いずみざき婦人会総会  
 27日 原子力損害賠償に関する9市町村の会議  
 29日 第3回定例西白河地方町村議会議長会  
 福島県白河地方・会津地方原子力  
 損害賠償対策本部会議

【4月】

1日 第1回村内統一クリーンアップ作戦  
 6日 平成24年度泉崎中学校入学式  
 " 平成24年度泉崎第一、第二小学校入学式  
 " 平成24年度泉崎村児童館入館式  
 10日 交通安全テント村  
 " 議会運営委員会  
 " 平成24年度泉崎幼稚園入園式  
 11日 白河地方土地開発公社決算監査  
 " 西白河地方町村議会議長会定例会  
 " 第2回泉崎村議会臨時会  
 13日 第4回泉崎村議会放射能対策特別委員会  
 " 峠寿会総会  
 19日 泉崎村老人クラブ連合会総会  
 20日 泉崎村農業委員会定例会  
 " 第9回いずみざき桜ウォーク  
 22日 福島県消防協会白河支部春季連合査閲  
 24日 第1回地域懇談会

【5月】

1日 白河地方広域圏組合議会臨時会  
 " 第1回地域懇談会  
 7日 第1回地域懇談会  
 8日 福島県町村議会議長会理事  
 " 監事合同会議

9日 第1回地域懇談会  
 10日 泉崎国保保健協力委員会総会  
 " 泉崎村ボランティア連絡協議会総会  
 " 泉崎村婦人団体連絡協議会総会  
 17日 第16回議長杯グランドゴルフ大会  
 18日 泉崎村商工会第51回通常総会  
 19日 泉崎第一、第二小学校運動会  
 22日 泉崎村農業委員会定例会  
 25日 例月出納検査  
 " 第62回地方植樹祭  
 26日 第16回小・中学校  
 レシテーションコンテスト  
 27日 熊田ミサオ様百歳高齢者知事賀寿贈呈式  
 28日 泉崎村交通安全協会総会  
 29日 第37回町村議会議長・副議長研修会  
 30日 泉崎村交通安全母の会総会

【6月】

3日 第2回村内統一クリーンアップ作戦  
 4日 議会運営委員会  
 " 福島県町村議会議長会定期総会

昨年の大震災、原発事故による放射能の問題が起きてから、未だに解決の糸口が見つけられずに1年4ヶ月が過ぎました。精神的賠償問題についても福島県の基金から支払いが開始されましたが、東京電力の対応は納得がいきません。

議会としても今後、行政とともに村民の健康を守る対策と補償問題は継続して行動してまいります。

村内において学校施設など子ども達の生活空間を優先に除染作業が始まりました。今後、地域内の除染作業も本格化する予定です、放射線量の低減が期待できます。

梅雨も明け、暑い日が続きますが、熱中症に気をつけて毎日をお過ごしください。

編集・発行責任者  
 議長 中野目正治

編集委員会  
 委員長 浅野 一成  
 副委員長 白石 正雄  
 委員 廣瀬 英一  
 " 星 一  
 " 中野目正治